

暑中お見舞い申し上げます

記録的に早い梅雨明けでしたが、豪雨と雲の多い中での猛暑の日々、更に全く無策の中でのコロナ第7波の来襲で、一時の油断もできない不穏な日々が続いています。

「不穏」と言えば、7月第2週の悲しい事件も挙げられます。

しかし、天の配剤には、無力を嘆くばかりですが、僕らの社会のことは、必ず僕らが正すことができるはずです。

アルペール・カミュの「シーシュポスの神話」にあるように、例え神々の言い付け通りに山頂に岩を運び、運び終えたその瞬間に岩が転がり落ちてしまい、その繰り返しをすることは、決して無駄では無く、それは意味のある神への「反抗」であり、この不条理を相対化して僕らは自由を得るのです。

だから、この社会的「不穏」に対して僕らが反抗をして、僕らの自由を獲得しませんか。

どうぞ、ご自愛を！

令和4年 盛夏

大分市城崎町2丁目1番5号
城崎司法ビル401

弁護士 三井嘉雄